

受難節(レント)第四主日礼拝
説教『地に落ちた一粒の麦から命が』

司会 山根 眞三 師
市川 眞美恵 さん
奏楽 白石 百合子 さん
招詞 IIコリントの手紙1章3～5節
の祈 (564)
讃詠 5 4 6
交読詩編 詩 1 3 2 編
祈禱 美歌 21 - 5 2 5
使徒信条 (566)
聖書 教 ヨハネ福音書12章20～26節
(口語訳161頁、新共同訳192頁)

『地に落ちた一粒の麦から命が』

祈禱 美歌 1 4 5
献金 謝告 栄 5 4 0
祝後 奏

次週の礼拝(受難節第五主日礼拝)
説教『イエスによる洗礼を心から受け…』
マルコによる福音書10章35～45節
招詞ヘブル書5章8～10節/交読詩篇130編
讃美歌 546、21-294、162、541

礼拝当番
今週 10日 司会 市川さん 献金 神笠さん
次週 17日 司会 吉丸さん 献金 根角さん
会堂清掃奉仕 3月15日(金)
午後4時～ めぐみ幼稚園保育者

本日の集会

★教会学校 午前9時45分
★出会いのひととき 礼拝後～
それぞれの思いを語り合しましょう。

今週の集会/スケジュール

♫広島キリスト教信徒会理事会 3月12日(火)11:00～
♫めぐみ幼稚園お別れ会 3月13日(水)10:30～
年長さんとのお別れの時を持ちます。
♫広島拘置所教誨奉仕 3月13日(水)13:30～16:00
施設にある方の信仰生活をお祈りください。
♫広島市キリスト教会連盟総会 3月14日(木)15:00～
会場：広島ルーテル教会
♫めぐみ幼稚園礼拝 3月15日(金)10:30～

次週以降のスケジュール等

●レコードコンサート 3月17日(日)13:00～15:30
ベートーヴェン 交響曲第4番変ロ長調作品60
チャイコフスキー 弦楽セレナーデ ハ長調
ブラームス 交響曲第2番ニ長調 作品73
♫めぐみ幼稚園卒園式 3月18日(月)10:00～
6名の子ども達が卒園します。覚えてお祈り下さい。
🔔ヒロシマハンドベルリンガーズ能登半島等支援
チャリティコンサート 3月24日(日) 13:00～
於：広島西部教会
◎赤木直美さん 3月3日(日)に永眠されました。
93歳。ご遺族に神様の慰めを祈りましょう。

◎ 3月教会役員会報告

1. 教区通信により教区内の情報を交換した。
2. 分区、教区総会の議員について協議した。
3. 1月分会計報告を承認した。
4. '23年度教会活動総括について協議した。
(司会当番) 3/17 吉丸さん、3/24 高橋さん、3/31 神笠さん
4/7 根角さん、4/14 市川さん、4/21 吉丸さん、4/28 神笠さん

先週の集会	男	女	計
教会学校	0	0	3
主日礼拝	3	9	12

◇今週の説教要旨(受難節第四主日礼拝)

『地に落ちた一粒の麦から命が』ヨハネ福音書12章20～26
世界の状況がどんどん動いている。そんな状況の中ですべて心配なのが日本の政治動向だ。日本は平和国家だとしんじていたのだが、武器の共同開発に参加することによって、武器輸出等について禁じられていた国是が変更されようとしている。世界が戦争という状況にとっても敏感になってきているからだろうか。このような状況であればある程、私達は平和を声高く訴え、武力、兵器の使用を注視したい。
ユダヤ人にとって過ぎ越しの祭りは大切だ。神の導きと守りを最も身近に覚え、感謝する時だから。それはヨハネの教会にとっても同じだった。祭り近い高揚した時にイエスはエルサレムにいた。ヨハネの教会にとって非常に緊張し、興味を持ったのが、異邦人であるギリシア人がイエスに関与してきたことだろう。イエスはユダヤ人だけではなく、異邦人にとっても救い主なのだと思っていたからだ。そんな状況が見えてきたからなのだろう。イエスは人々に語ったのが一粒の麦の教えだ。過ぎ越しの祭りはちょうど麦の収穫の時期に近い時だった。麦のみのりが人々に意識される時だから語ったのだろうか。イエスは明確にご自分の時を意識した。ごく普通の農業知識を。ヨハネは共観福音書で教えられている種蒔きの教えを、一粒の麦の「死」に集中したのだろう。しかも、その死に至る方向性が大変意識される。種が蒔かれるような状態をヨハネは「地に落ちて」と表現した。この表現によってイエスの迎える歩みを示した。この表現には二重の意味が含まれたのだろう。命を支える大地への方向性と、天に上るに表現される栄光性と真逆の方向性が。命を支えている麦なのだが、麦のままである限り、それは一粒なのだが、麦がむぎであることを捨て、種麦となって地に落ちれば、豊かに実を結ぶであろう。イエスが歩まんとする道、信じる者の道が示されるのだ。